

第1章 グランドデザイン策定にあたって

1. グランドデザイン策定の背景

大森の海苔文化が息づくにぎわいと憩いの大森駅東側

大森駅をはさんで東側の地域は、鉄道が敷設されるまで、沼や沢に水鳥や小動物が集まる田園地帯でした。明治9年の大森駅開業を契機に、田畑は住宅地になり、その後は工業地、商業地としても発展してきました。

また、江戸時代より沿岸部では海苔の養殖が盛んで、浅草海苔の供給地となり、海苔の名産地として大森は全国に知られるようになりました。そして、現在においても、海苔の卸売業によって海苔文化が受け継がれています。近年では、大森駅東側の臨海部は、浜風かおる海辺を再現する「大森ふるさとの浜辺公園」や「大森 海苔のふるさと館」などが整備され、海苔文化を継承する憩いの空間としても親しまれるようになりました。

大森貝塚や馬込文士村などの歴史・文化遺産が息づく大森駅西側

山王から馬込にかけての一角は、大正以降、多くの文人や芸術家が居を構え、創作活動を行ったことから馬込文士村と呼ばれ、居住地・別荘地として人気を集めてきました。現在も、文士ゆかりの貴重な資料を展示する資料館や旧居跡等があり、大田区の歴史・文化を特徴付ける地域となっています。また、日本考古学発祥の地である大森貝塚などの史跡も存在し、大森駅がこれらのアクセス拠点となっています。

大森を取巻く状況の変化

駅東口では、戦災復興土地区画整理事業が行われ、昭和59年には駅ビルが完成し、中心商業地として発展してきましたが、事業完了後約40年が経過した駅周辺の建物は更新時期を迎えています。また、駅西口では、池上通りに沿って路線型の商店街が連なっています。

一方、羽田空港の再拡張・国際化に伴い、大森駅周辺地区は蒲田駅周辺地区、羽田空港・臨海部とともに、区の重要な拠点としての役割が、今まで以上に大きなものになっています。また、品川、大井町、川崎など近隣のまちの再構築・活性化や将来の発展が期待される臨海部の整備など、大森を取巻く状況が大きく変化してきています。

大森駅周辺地区は、こうした歴史・文化や周辺状況の変化を背景に、まちの魅力と機能向上を図っていくことが求められています。



2 . グランドデザイン策定の目的

大森駅東西のまちの性格を活かした魅力の向上が重要

大森駅周辺地区は、地形的な要因、JR線による分断、市街地形成における歴史的な背景などから、東西で大きく性格が異なっています。そのため、この大森の個性である東西の顔と性格を踏まえたまちづくりを進めていくことが必要になります。

今後のまちづくりにおいては、それぞれの地域の特徴を活かしながら、ハード・ソフトの両面で連携の強化を図り、大森のまち全体の魅力を更に高めていくことが重要です。

グランドデザイン策定の目的

大森駅東西の特徴やまちの課題、周辺状況の変化に対応しながら、地域住民・事業者・行政が一体となってまちづくりを進めていくため、まちの将来像、基本的な方針・目標、実現に向けた方策を示す、グランドデザインを策定することとしました。

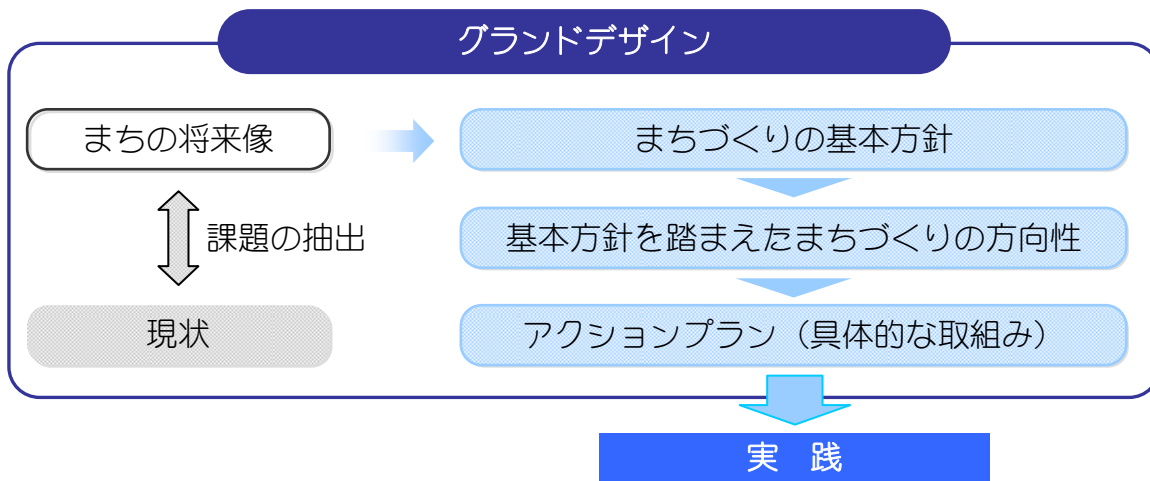
まちづくりは、都市計画や産業、観光、地域福祉、環境保全、文化など幅広い分野にわたります。グランドデザインでは、こうした分野での大森駅東西のまちの個性を考慮して特徴を捉え、課題を整理した上で、そこからイメージされるまちの将来像を描きます。この将来像実現に向けての基本方針と目標を定め、アクションプラン(具体的な取組み)とそれに取組むための仕組みを整理していきます。

この取組みによって、大森駅周辺地区が将来にわたって持続可能な発展を目指していくことが、グランドデザイン策定の目的となっています。

グランドデザインとは

グランドデザインとは、総合的・長期的視点でまちの将来像を掲げ、これを実現させるまちづくりの方針に基づいた取組みを示したものです。

まちづくりは、行政だけで進められるものではなく、地域住民や事業者と協働して取組むことが必要です。グランドデザインは、地域住民・事業者・行政のそれぞれの役割や、どのように協働しながら取組むかといった方向性を示す役割も担っています。



3. グランドデザイン策定のエリア

大森駅周辺地区は、JR線を境に大きくまちの特徴が異なります。大森駅東側では、臨海部まで平坦な土地となっており、暮らしを支える繁華街を中心に、発展してきました。一方で、大森駅西側は、起伏に富んだ地形を有しており、豊かな緑と良好な居住地が形成されています。

市街地形成の歴史と現在の土地利用状況等を考慮し、大森駅周辺地区グランドデザインでは、大森駅から約1kmの範囲内に、「浜風かおるにぎわいエリア」及び「文化かおる緑のエリア」を対象エリアとして位置付けます。ただし、臨海部周辺や駅西側の歴史・文化施設などにも配慮しながら、まちづくりを考えていくこととします。

また、隣接する品川区と連携したグランドデザインを考え、更なる魅力向上を図ります。

浜風かおるにぎわいエリアの品川区部分は、現在、品川区で位置付けを検討中。



文化かおる緑のエリアの特徴

- 文士や芸術家が交流していた歴史・文化資源
- 緑豊かで起伏に富んだ閑静な居住地

浜風かおるにぎわいエリアの特徴

- 周辺居住地の暮らしを支える駅前の繁華街
- 商業・業務・公益施設等の都市機能が集積

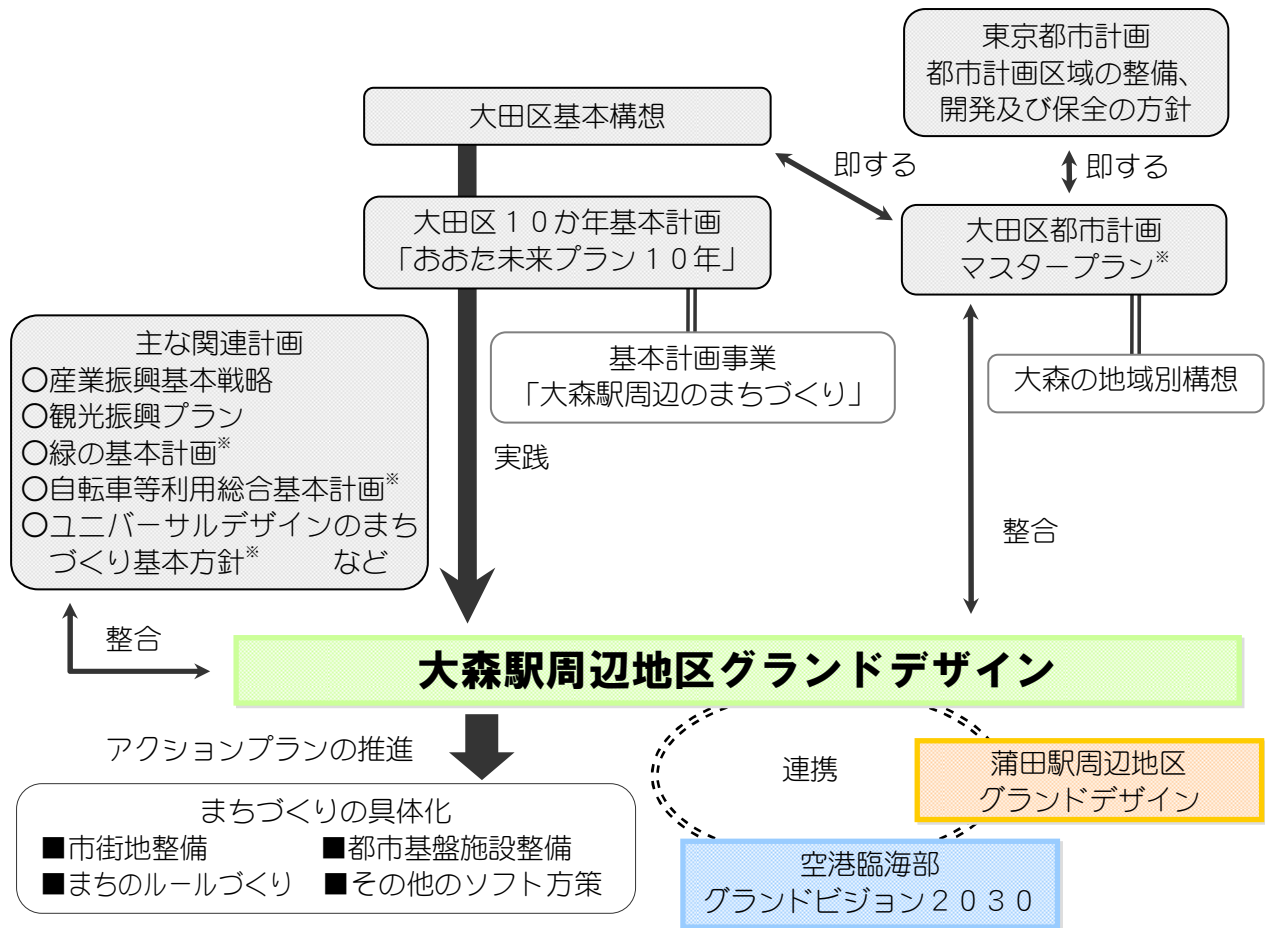
臨海部の特徴

- 大森海苔や旧東海道の歴史・文化
- 集客施設・レクリエーション施設・公園の集積

4 . グランドデザインの位置付け

平成 20 年 10 月に大田区基本構想が区議会において議決されました。そして、この基本構想を実現するための具体的な施策を体系的にまとめた大田区 10 年基本計画「おおた未来プラン 10 年」において、大森駅周辺地区は、蒲田駅周辺地区及び羽田空港・臨海部とともに、大田区の中心拠点に位置付けられています。「大森駅周辺地区グランドデザイン」は、おおた未来プラン 10 年の基本計画事業である「大森駅周辺のまちづくり」を推進していくための将来構想になります。

また、区内全体の都市計画分野の基本計画である「大田区都市計画マスタープラン」においても、大森地域では、「住環境と産業が調和した、歴史と文化のかおりただよう中心拠点としてのまち」が将来像として位置付けられています。そして大森駅周辺地区グランドデザインは、このマスタープランの大森の地域別構想と整合します。



*平成 23 年 2 月末現在策定中または改定中の計画